

住まいの余白

事例分野：リフォーム部門



要望

築41年のマンションをフルスケルトン状態にしてからリノベーション。
SOHOとして住もうための夫婦の要望は、「プライベート空間を通らないワークスペースを設けたい」、「広いリビングでくつろぎたい」、「シンプルで広がりのある空間にしたい」というものでした。

コンセプト

ミニマムな素材・白を基調とした色彩・シンプルなゾーニング・家具間仕切による計画。オープンスペースには開口部からの光と風が行き渡り、オープンスペースを緩やかに仕切る家具は空間の奥行と生活の役割を与えます。また外壁面と熱橋部分への断熱性能と上下階への遮音性能の向上が図られています。時間の移ろいの中で住まう人・家具・オリジナルの取手や照明等が、様々なオブジェクトとなって浮き出す余白の空間になっています。

内部仕様

オープンスペース

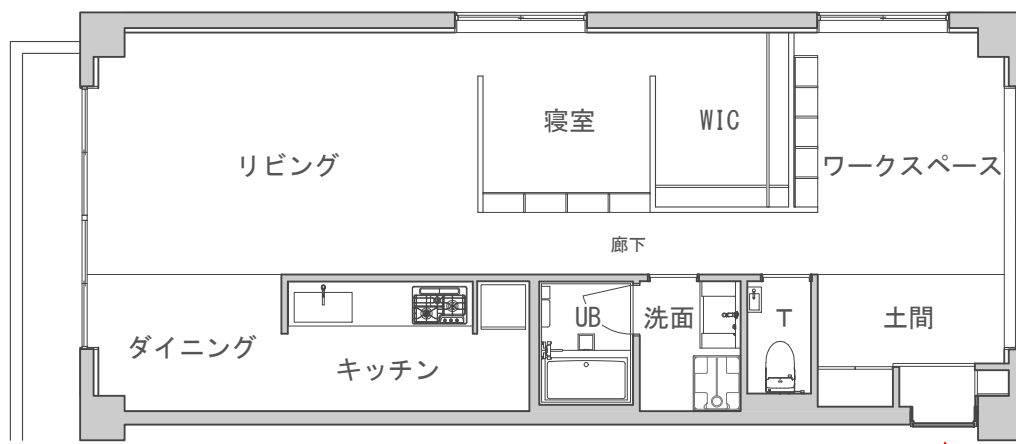
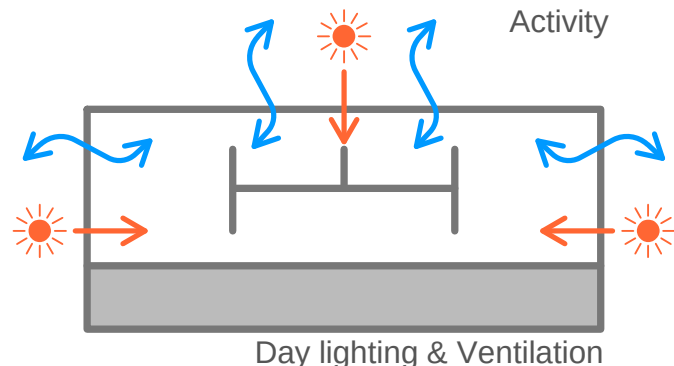
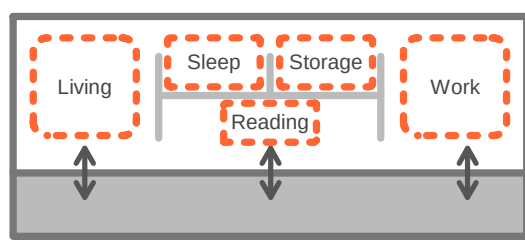
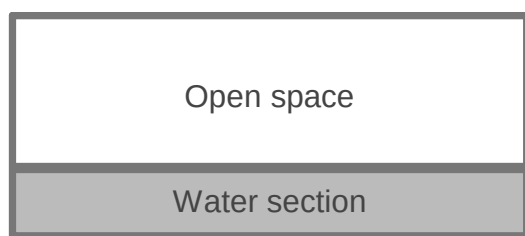
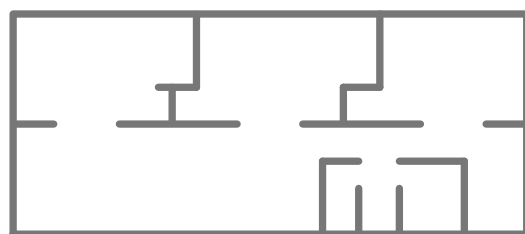
床：ロールカーペット t 9.0
壁：PB t 12.5 EP塗装
柱・梁：樹脂モルタル塗
天井：PB t 9.5 EP塗装

ウォーターセクション

床：積層ビニル床シート t 2.5
壁：PB t 12.5 EP塗装
樹脂モルタル塗
柱・梁：樹脂モルタル塗
天井：PB t 9.5 EP塗装
キッチン：オリジナル

概要

所在地：東京都世田谷区
家族構成：夫婦
規模：68.00㎡
竣工：2012年6月
工事費：¥8,600,000（税込）



改修平面図
S=1/100

